

○有機EL素子の研究

城戸 淳二 山形大学教授

科研費

「白色発光有機エレクトロルミネッセント素子の開発」(平成6年度～一般研究(C))

有機EL材料、白色素子構造の発明。



・実現不可能と言われた高輝度白色有機EL素子の開発に世界で初めて成功し、有機EL照明の可能性を拓いた。

- ・省エネの次世代面状光源として期待されている。現在、山形大学発のベンチャー企業から照明用白色有機ELパネルのサンプル出荷が始まっている。
- ・将来的な市場規模は約5兆円、白色有機ELがディスプレイにも応用された場合14～15兆円が見込まれている。



白色発光有機EL素子